

< 「過ぎてしまえば一番幸せ」期：「ワクワク・ドキドキ」編 - 1 >

対象(時間): 小学1~3年生の親(110分程度)

ワクワクとドキドキと ~期待と不安の中味とは?~

【ねらい】親が抱いている子どもへの期待と不安を振り返り、子ども自身をみつめることの大切さに気づく。

【準備物】学習者：筆記用具

主催者：名札、ワークシート、アンケート用紙

時間	アクティビティの展開	留意点	備考
：	名札付け(来た順に)	全員が名札をつける。(ニックネーム可)	
：	ファシリテーター(学習支援者) 自己紹介、主旨・ルール等説明	和やかな雰囲気づくりに配慮する。 写真を撮る場合は、予め了解を取る。(肖像権)	スケジュールを板書しておく。 ・机は講義形式
：	アイスブレイク 「歌いましょう」 ドキドキドン1年生、1年生になったらなど、昔の気持ちに戻って、小学生入学にふさわしい歌を歌ってみましょう!	初対面の人同士の場合、自由に意見を出し合うためのウォーミングアップとする。 楽器や手拍子などで盛り上げる。 「どちらの歌により共感を覚えるか」で年代が分かれる。 歌詞は主催者で準備する。(著作権に配慮) 受講生の必要最低部数であれば、コピーが許される。 必要に応じて、数グループに分ける。	・机を撤去 ・グループ数に応じて、机を配置
：	<エピソードを読みましよう> P2 黙読 <思い出してみましよう、考えてみましよう> P2,3 ～ の設問に記入	誰かに音読してもらってもよい。 小学生入学前の自分の気持ちをしっかり思い出してもらおう。	
：	意見交換	三つの約束(発言の平等、人の発言を肯定、秘密の保守)、ただし、言いたくないことは発表しなくてもよい。(パス有り)	
：	～ の設問に記入		
：	意見交換	「期待がどう変化していったのか、それはなぜか」 「不安がどう変化していったのか、それはなぜか」 「期待よりも不安の方が大きくなっていないか、それはなぜか」...など、「それは自分の考え方・捉え方の変化ではないか」という視点を投げかけつつ、フリートークで深めていく。	
：	<さらに考えましよう> P4 文章をゆっくり朗読しながら、P4の設問に記入 フリートーク	親の期待や不安は必ずしも「子ども自身の期待や不安」を踏まえたものではないこと、子ども自身の期待や不安に寄り添うことが大事であることに気付いてもらう。	
：	<学習を振り返りましよう> ワークシートへの記入 ファシリテーターの話	時間があれば、県民の声も読む。(県民の声は必ずしも「模範解答」ではなく、いろんな意見があるということを示すためのもの)	
：	終了・片付け アンケート記入	参加者全員で行う。 アンケート記入者から流れ解散	・現状復帰
メモ			